

講義名	日本語 B (聞く)			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

この授業では、日常の様々な場面やトピックにおいて、能動的に聞き、自然に反応しながら会話に参加できるようになることを目指す。また、講義や発表を聞き、要点をまとめたり、内容に対する自分の考えを送る練習も行う。

到達目標

- ・大学や普段の生活の中で遭遇する身近な話題について、主要点を理解できるようになる。
- ・聞き取れなかった場合に聞き直したり、確認したりしながら会話を進めることができるようになる。
- ・大学生に必要な講義や口頭発表の概要をつかみ、要点をまとめることができるようになる。

提出課題

課題（ワークシート、宿題等）については、授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

ワークシート、宿題、小テスト等は添削し、各学生にフィードバックする。また、全体としての講評・解説等も行う。

評価の基準

授業への参加態度（20%）、課題・小テスト（30%）、中間の理解度確認（20%）、期末の理解度確認（30%）
 全授業回数の1/3以上欠席した場合は、成績評価の対象から外す。
 毎回、漢字の読み方や語彙・表現等の小テストを課す。

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回の授業で出席をとる。
- ・15分以上の遅刻は欠席とみなす。
- ・遅刻3回で1回の欠席となる。
- ・真面目かつ積極的な授業参加を望む。
- ・授業中のスマホ等の不必要な使用は慎むこと。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

授業中に、プリント資料を配布する。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）、「はじめての人と」
 予習内容：印象に残る自己紹介を考えておくこと（60分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。授業で扱ったトピックについて、常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第2回 「音楽の力」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第3回 「らしいとは？」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第4回 「マンガを読む」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第5回 「祭り、イベント」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第6回 「旅行」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第7回 「これが欲しい！」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第8回 中間の理解度確認
 予習内容：「中間の理解度確認」の準備をしておくこと（4時間）
- 第9回 『動物と暮らす』
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第10回 「夜を楽しむ」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第11回 「バイト体験」
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第12回 講義・発表を聞く
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第13回 講義・発表を聞く
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第14回 講義・発表を聞く
 予習内容：事前に配布する資料について、語句の読みや意味を調べ、覚える努力をしておくこと（90分）
 復習内容：学習した語句の読みや意味を復習し、発音練習も行うこと。常に自分の言いたいことを考え、必要な語彙・表現をメモしておくこと。そして、実際に話せるように練習すること（150分）
- 第15回 期末の理解度確認
 予習内容：「期末の理解度確認」の準備をしておくこと（240分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、聴解を中心とした総合的な日本語能力の向上とともに、知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材の育成に關与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考